

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	建築構造の強非線形問題小委員会		主 査 名：小河利行 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：竹脇 出
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震をはじめとする災害時の建物の崩壊挙動に大きな影響を及ぼす，建物構造内部に発生する種々の強非線形挙動およびこれを高精度かつ系統的に評価する解析手法について情報収集する。更に，強非線形挙動を内包する建物挙動が解析可能となる基本フレームを提供する。 ・ 次年度以降は，建築構造の崩壊挙動を解析するため，委員相互による解析手法に関する情報交換を行い，それぞれの手法の優位性等について議論した上で，個々の強非線形問題を複合的に解く手法について検討する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し 小河利行(東京工業大学)，元結正次郎(東京工業大学)，荒木慶一(京都大学)，磯崎 浩(鹿島建設)，大塚貴弘(名城大学)，寒野善博(京都大学)，熊谷知彦(東京工業大学)，多田元英(大阪大学)，谷口与史也(大阪市立大学)，中澤祥二(豊橋技術科学大学)，宮村倫司(日本大学)，武藤 厚(名城大学)，森迫清貴(京都工芸繊維大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の活動計画である建築構造に内在する強非線形問題の洗い出しを行い，それに関係する情報収集を行った。 2. 洗い出された強非線形問題の一つである摩擦を伴う接触問題に関して情報収集を行い，議論した。
委員会活動の問題点・課題	次年度の課題：強非線形問題を扱う上で多用される梁要素について実態の把握を目的とした委員を対象としたアンケートを行い，梁要素に関する実用上の問題等について明らかにする。